

全労連、自治労連など直ちに救援へ立ち上がる 東日本大震災・前代未聞の大災害に



壊滅の宮城県南三陸町・高台から

11日重税反対集会、税務署交渉のさなか、ラジオから大津波の報が絶え間なく聞えた。まさかこれほどの惨事になるとは思いませんでした。ただただ驚くばかりです。何か出来る事はないか？ないか、ないか。

3月6日、福岡市博多区福岡サンパレスホールで、「一緒に生きるこのまちを！憲法がくらしに生きるこのまちを！福岡県民集会」を開催し、県下から約2,000人が参加しました。
大型間接税反対2万人集会からはじまった「福岡県民集会」は今年で24回目を迎えました。当日はあいにくの雨でしたが、集会後、3月3日開業したばかりのJR博多シティまで元

初の屋内県民集会に2000人 たむら県知事候補、力強く決意表明

気にパレードを行い、市民にアピールしました。
オープニングでは、元気なうたごえと弥生会、鹿鳴会による尺八、琴18人の合奏で春をよぶ音色が会場に響き渡りました。
集会では、実行委員会を代表して梅野肇県春闘共闘議長（県労連議長）が挨拶。「大企業の内部留保を下請け・中小企業や労働者など社会に還元し、内需拡大をはかろう」など、諸要求の前進に向けた運動の強化を参加者によりかけました。

大木町石川町長が「住民協働で築く環のまち、おおき」と題して、ごみを資源として地域の中で循環利用し、環境を壊さない持続可能な暮らしを築いて次の世代に引き継ぎ、住民一人ひとりの誇りになるような循環のまちづくりについて講演しました。

続いて、「非正規の正社員化にむけた雇用を守るたたかい、諫早干拓問題、生存権裁判、日航不当解雇、TP



雨あがり

我が家は、今から二か月間洋ランで花盛りになる。いま五本のシンビジュームが咲いている。コチョウランが八本花茎を伸ばしており、一本の花茎から横に三、四本の花茎を出している。オンシジュームは三本花茎が成長中である。一年の中で今の時期が楽しみである。洋ランは全部で一七鉢ある。

初めは二十余年前誕生日プレゼントでコチョウランを一鉢頂いて、温室もないのに枯らさず花を咲かせながら五、六年たちそれからだんだん増えてきた。一番好きなのはカトレアだけ何が悪いか四度枯らした。花芽は付くけど咲かず新芽が出ずに枯れてしま

う。いまだに原因がわからない。一番むつかしいのはコチョウランというけれど、もういいというほど咲くのにカトレアはなぜ咲かない。ああカトレアがほしい。

「相乗り」「天下り」「なれ合い」県政に厳しい審判を下し 県民本位の新しい県政実現への運動を強めましょう

ご苦労さまです。いよいよ告示日(3月24日)も目前と迫りました。みなさんの期待を受けた田村県知事予定候補は今、元気いっぱい全県をかけめぐっています。田村候補の宣伝物も、次々、おりています。県民犠牲の県政から、県民のいのちと暮らしを大切にす新しい県政の実現にむけ、いっそう運動強めましょう。
2011年3月10日 福岡県民の会

● 「相乗り」「談合」による知事選に県民の批判が強まっています

田村さんが対決する相手は、経済界のトップ企業と「連合」、県議会の「オール与党」が選んだ「天下り」「相乗り」候補です。この候補者選に、マスコミも、「政策なき相乗り」「県民不在の候補選」と報道、県民も今回の「相乗り」「談合」に強い批判をあげています。

● 財界と「オール与党」の狙いは「なれ合い」県政の継続

「相乗り」「談合」県政は、結局、麻生県政と「オール与党」が続けてきた「なれ合い」県政の継続です。いま、県議会では、知事の提案にほぼ100%賛成です。

このもつで、県民犠牲の県政が続けられてきました。この県政の転換が求められています。

● 田村さんが県政の転換へ全力つくす

田村知事候補は、4期16年勤めて1億8800万円もの退職金を受け取るような知事の姿勢そのものを批判し、また、税金のムダづかいが横行する議会の改革も要求しています。また、県民のくらしと地域を直接の応援する県政をすすめます。雇用・仕事、医療・社会保障、子育て・教育、清潔・公正な県政をめざし、財源も明確にして「1000億円、県民サポートプラン」を提案、この実現をめざします。

県内60の市町村の振興にも力をつくします。

田村さんへのみなさんのご支援を心からお願いします。

● 田村勝利へ宣伝と支持拡大を強めましょう

田村さんの名前入りの宣伝物は23日までしか使えません。宣伝物を活用し、宣伝と支持拡大を強めてください。まわりの友人、知人、家族の方に、宣伝物を渡してください。また、「田村さんをお願いします」と声をかけてください。「相乗り」「なれ合い」勢力に負けられません。全力をつくしましょう。ご奮闘をお願いします。

● 告示日の作業への準備とご参加をお願いします

3月24日(木)の告示日は、公営掲示板のポスター張り出し、出発式への参加、第一声、法定ビラの配布など、作業が集中します。この作業へのご協力、ご参加をお願いします。

また、夜は、18:30からJR小倉駅前集会、19時からJR博多駅前集会が開かれます。この集会を成功させ、田村勝利へ運動を大きくもりあげましょう。



県民の会の各団体ががんばっています

● 福建労

1人5票の支持拡大をめざし、独自ビラ1万5千枚を作成。いま、176の支部・分会・班が推薦決議をあげています。

● 民医連

県連理事会が推薦を決定。2月26日には独自に県政学習会を開催し、構成員の活動を推進しています。

● 福商連

25の全商に資料をおろし、集団申告の多忙な中でも、いま14民商から支持拡大があがっています。一人10人の目標で支持をひろげています。

● 新婦人

独自の教育ポスターが大好評。班と小組みにポスターをおろし、つどいを開催しています。来週には独自のビラも完成します。

● 生活と健康をまもる会

15000の支持拡大をめざし、資料をおろしました。3・8の常任理事会で方針を討議します。

● 民主青年同盟

3月20日に天神の大宣伝を行います。

● 日本共産党

議員選挙とあわせて、いま12万の支持を拡大しました。リーフ、ビラの配布を強め、議員選挙の告示までに、地域整理で得票目標の達成をめざしています

あの~くみあいから 14

新潮印刷労働組合

当組合をご紹介します前に、まず弊社、有限会社新潮印刷の起こりをご説明します。

14年前に門司港にありました老舗の印刷会社・隆文堂印刷(倒産時130余名)が倒産しました。

その時、隆文堂印刷には私達の全印総連の組合と全国一般の二つの組合が存在していました。

会社が倒産した時、労働組合がないと会社の資産は取引先の債権にほとんど充てられますが我々労働組合が闘って労働債権の多くを勝ち取ることが出来ました。この時には、全印総連はもとより、地区労連の方々の大きなご支援をいただいたおかげです。

この場をお借りしましてお礼を申し上げます。

この時のメンバーが中心となり、退職金を出しあって有限会社新潮印刷を設立し、新潮印刷労働組合が誕生しました。当時の情勢は厳しく、企業を再び倒産させない・経営継続のため、低労働条件のもと従業員全員で奮闘してきました。

この間、北九州の印刷関連企業は廃業、倒産、経営危機による経営者交代による社名変更等とかなりの変化がみられました。

新潮印刷労働組合は成り立ちからしても、単なる労使対立の際の労働者の権利を守るだけでなく、産業の底辺で働く中小企業の労働者・経営者の生活を守る為にも活動していきたいと思ひます。